

『図解インドの投資・会計・ 税務の基本』



久野康成公認会計士
事務所、株式会社東京
コンサルティングファーム著
出版文化社
2500円(税抜き)
ISBN978-4-88338-395-5

インド進出に不可欠な知識

人口11億人を擁し、急速な経済発展を遂げるインドを新たな市場や投資先として見る会社のためのハンドブック。今年から適用された最新の変更点を含む税制及び事業拠点の設立や会社法の基本を分かりやすく解説する。

まずは「インド投資環境の基礎知識」と題して、経済情勢や国内産業のデータ、教育制度などの概要をまとめている。昨年9月時点での日系企業数は326社、事業拠点は492カ所に上り、そうした企業が進出する際にインド政府から受けられる優遇処置と適用の条件を示す。進出の具体的な手続きに関しては、駐在事務所、日本(外国)法人の支店、限定された契約の遂行が目的のプロジェクト事務所の3つに分けて、設立手続きの手順と税金をまとめている。申請や登記に必要な書類のサンプルもそのまま掲載している。

税制においては、特に間接税の掌握と算出が「外国人泣かせ」と指摘。インドでは間接税比率が高いうえに、サービスやモノの売買・移動といった課税対象に対して、中央政府と州政府がそれぞれ異なる税を課す複雑な仕組みがある。また、直接税である法人所得税、個人所得税の仕組みについても詳しく解説する。巻末には日本語訳付きの各種申告書参考例を掲載しているので活用したい。